

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面
Discover a New World of Service

No. 23

1984~85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

第117回例会 昭和59年12月4日 (火) 晴

◆“君が代” “奉仕の理想”

◆出席報告

会員 53 64名 出席 37名

出席率 69.81 %

前回 11月27日 (修正出席率) 100 %
make up

安藤君(12/1守山), 深見君(11/28名北), 古川君(11/29西), 橋本君(11/27神戸東), 林君(11/29東南), 河合君(11/28名北), 黒野君(11/29大阪東), 黒須君(12/3空港), 三輪君(11/22東南), 宮尾君(12/3空港), 永井君(11/28名北), 笹野君(11/30港), 鈴木(正)君(11/28和合), 鈴木(編)君(11/22東南), 手島君(11/28和合)

◆ビジター紹介 4名

◆誕生日祝福

林夫人(12/4), 宮尾君(12/10)

◆バナー披露

Manila RC, Raha Sulayman RC, Marikina West RC, Phillipines (菅原君)

◆ニコボックス

永井君(加藤敏)さん, 新美さんお世話になりました。6日のゴルフ会よろしくお願ひします。ホームクラブ欠席のお詫び, 宮尾君(ラリットを招く事ができてうれしいです。86年JCI世界会議誘致決定できました), 西村君(此の度入会させて頂き大変有難う存じます), 太田君(11/29の市内14RC合同麻雀会にて優秀な成績をおさめましたので(2位)), 竹内君(ソムサク君のお招きでタイ国王誕生日お祝いに参加しました。大変勉強になりました), 三輪君(ホームクラブ御無沙汰致しました。新人を歓迎して), 河合君, 水野(健)君, 新美君(本日早退させて頂きます)

◆谷口幹事報告

1. 本日例会終了後, 年次総会を開催致しますので, 全会員の方はお残り下さい。

◆新入会員紹介



氏名 西村 禎二 君
生年月日 昭和11年1月10日
事業所 曹洞宗 松林寺
千種区南明町1-43
TEL 751-5428
地位 住職
自宅 千種区南明町1-43
TEL 762-6073
推薦者 水野民也
職業分類 曹洞宗
委員会 親睦活動

◆加藤大豊会長挨拶

いよいよ1984年も12月に入り今年も残り僅か, 何かと気忙しく感ずる今日この頃であります。

さて, ピーターパン・シンドロームという本が今売れているそうです。ダン・カリーというアメリカ人が書いた本ですが, 20才を過ぎててもなお「おとなになりたくない」と願ひ, 実際「おとなになれない」という「おとな。こども」をピーターパン・シンドローム」と呼ぶそうです。

少年・少女時代のままにとどまりたいと願う

「ピーターパン」どころか、さらにもっと幼児期にもどりたい、との願望にとりつかれた「稚気化現象」が、わが日本では進行しているとのこと。

30才にもなった女性タレントが中年の男性キャスター相手に、口先だけで発声する甘ったれ語をよく聞くことがあります。これは、「おとな。こども言葉」といわれ“ミスをやっても大目に見て下さいね”“演技が下手でも拍手してね”的な甘えと思われ。昔だったら、小学校高学年程度の女の子が無意識にやっていたものですが、大人がこれを意識的にやっています。憧れの女学生の服が。今やマリン・ルックと名を変えてシンデレラ願望のOLや女子大生の間で爆発的に流行致しました。これも言ってみれば音声の甘ったれ語に対応する映像の甘ったれファッションといえるのじゃないでしょうか。幼児適及現象の一種で、これから日本中いろんな分野に蔓延するかも知れません。

対米貿易収支200億ドルの黒字を抱える日本、これがもたらしている日米経済摩擦にしても、「いい物を安くつくらない方が悪いんだ」などという発想は明らかに「ピーターパン・シンドローム」の典型的な症例ともいえます。世界を相手にしている舞台では「おとなこども語」など通用するはずはないと思いますが、如何なものでしょうか。

◆講演

“インド人から見た日本”

印日青年友好協会会長

ラリット・バクシ・クマール氏

(紹介 宮尾君)



まず日本人が勤勉なのは、漢字を幼い頃から書く訓練をしているからではないかと思えます。漢字には意味があり、丁寧に書かなければ覚えられないところに、日本人の勤勉さ真面目さの根源があるのではないのでしょうか。

戦後インドがイギリスより独立してから、インドは資源を持っており日本から学ぶものはないと皆思っておりましたが、日本がこん

なに発展するとは誰も想像しませんでした。

私は日本へ来て3年になりますが、日本語で一番苦労したのは会話です。似た言葉が多く例えば「私は役人です。」を「私は悪人です。」と聞いてしまったり、名古屋では「にゃあ」「きゃあ」の名古屋弁で苦労しましたが、特に「ギャアジン」と呼ばれるのには、いつも抵抗感があります。

さて、ここでインド人から見た日本ということで少々お話ししたいと思います。

まず日本へ来て驚いたことは、現在の日本は今のインドと随分考え方が違って来たという事です。戦前の日本では誰々の子供というように、インド同様「の」の世界を大切にしました。しかし最近では親と子供というように「と」の世界になってしまいました。インド人である私が日本人とつきあっていくには、この「の」と「と」をしっかりと考えていかないとつきあっていけないのではないかと思うようになりました。日本人が必ずつけているバッヂも奇異ですが、銀行でのちり紙のプレゼント、マンジュウの贈物で四方うまくいくこと、昼食時にはラーメン一杯で結婚式へ行くことと食べきれない程の食事が出され日本人の胃袋の伸縮自在に驚いた事、欧米人は一つの事を行うと後は休養をとり、これを虎に例えるならば、いつも何かをやっていない気がすまない日本人は猿に例えられること、又特に日本人は水と安全はタダと考えていること等々が、私の特に日本で感じたことであります。私には留学生の友人が沢山いますが、中でも私費留学生で苦学している人が多く、日本での留学生活にもっと便宜を計って戴けるようロータリーにも協力を御願ひしたいです。彼らは国へ帰れば指導者となる人達です。

そこでもっと留学生活で日本が理解を示したら、彼らが日本の良さを母国で宣伝してくれるのではないのでしょうか。又、日本の教育についても興味を持っておりますが、時代の流れと共に日本の教育も変わってしまったのではないかと少々危惧している次第です。

最後に、日本には高度の技術があります、そしてインドには伝統に培われた深い文化、理想の哲学があります。物質面での追求ばかりでなくお互いが学ぶ気持ちでつき合っていく事が、これからの我々若い者の努めだと思います。

(文責 宮尾)

◆会員退会のお知らせ

当会員の都築勝彦君が、11月27日付で理事役員会の承認のもとに退会されました。

◆次回例会(12月11日)

講演 “年末の防犯について”

愛知県警察本部防犯部参事官

猪子 進 氏 (紹介 太田君)

◆次々回例会(12月18日)

年末会員家族懇親会のため、講演はございません。(午後6時より愛知厚生年金会館にて)